

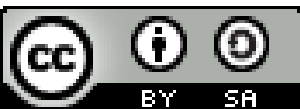


池田町図書館
開館40周年、
おめでとう
ございます！

2022年11月13日（日）

まちとしよ開館40周年イベント（池田町青少年育成町民運動推進大会 共催）
記念講演会&トークセッション

ここはみんなの“考・楽・知” ～ 池田町図書館への期待 ～



県立長野図書館 森 いづみ

自己紹介

- 名前：森 いづみ
- 生まれ：1969年（昭和44年）、長崎市生まれ
- 家族：夫、猫一匹、2年前から池田町在住（単身赴任中）
- 趣味：読書、ガーデニング、山登り（百名山 51座）
- 仕事：大学図書館で29年、公共図書館で3年め
 - ✓ 学生時代は国語の教師を目指す→公共図書館のアルバイトがきっかけで司書へ
 - ✓ 1991年～：東京大学、三重大学、国立情報学研究所、お茶の水女子大学
 - ✓ 2017年～：信州大学附属図書館@松本市
 - ✓ 2020年～：県立長野図書館@長野市



池田町への移住の決め手になったのは・・・

1

北アルプス展望の里・花とハーブの里

- ✓ 休日に松本からドライブがてら、土地を探していました
- ✓ 里山と田園の風景が素敵！（スーパーも病院もあるんだな）
- ✓ ガーデニング好きとして、ハーブ園があるのはとても魅力！
- ✓ 山好きとして、何よりも北アルプスの眺めが最高！！

2

北アルプス展望美術館（池田町立美術館）で杉山巢雲先生を知る

3

学びの文化・伝統が息づく土地柄

- ✓ 「池田学問所」の伝統
- ✓ 「新池田町学問所」の看板がかかる「池田町交流センター かえで」
- ✓ 40年の歴史をもち、確かな存在感を持つ、池田町図書館

ところで、皆さん。図書館ってどんなイメージですか？一般的には・・・

本が無料で
借りられる

本や雑誌が
沢山ある

静かで集中して
勉強できる

子どもの本や
自分の読書、趣味の本を
借りている

新聞を見たり
調べ物で使っている

昔、試験勉強
で使ったなあ

実は
ちょっと苦手

自分とは
関係ないかも

古い本が多い/
静かにしないと怒られる

忙しくて行く
暇はない

本は読まない/
自分で買う

調べ物やニュースの
チェックはネットが便利

図書館は、
読書好きな人たち
だけのもの？

コロナ禍で起こったことー図書館に対する社会の反応

● 2020年4月、相次ぐ図書館休館へのメディアの反応

- ✓ 信濃毎日新聞. 斜面「どんな本が好きですか？」シェークスピアを愛する青年は「ハムレット」と答えた(2020年4月19日) シリア内戦下の若者が地下室に作った「戦場の秘密図書館」を紹介。戦争にも例えられる**コロナ禍で図書館の休館が相次ぐ状況を、「残念に思う人は少なくないだろう。図書館は『知る権利』や心の自由を保障している施設なのだから」と憂慮。**

- ✓ 朝日新聞デジタル. 「**図書館は動き続ける 宅配で本を貸し出し、試み広がる**」(2020年5月8日) <https://www.asahi.com/articles/ASN5833Q9N57UTIL02R.html>

✓ 再開後：

コロナ対策を行いながらの開館：不安もありつつ日常が戻った明るいニュースとして、多数報道。「来館者名簿」と「プライバシー」の葛藤についての報道も多数

● 2020年4月～5月（第1回目の緊急事態宣言→休館）

- ✓ 全国の公共図書館休館率：約92%
- ✓ 長野県内公共図書館休館率：約70%、相互貸借実施率：50%
- ✓ 県立長野図書館貸出率：5%（95%減）

図書館は動き続ける 宅配で本を貸し出し、試み広がる

有料会員記事 新型コロナウイルス
伊藤和行 2020年5月8日 11時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷



新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、全国の図書館の休館が長引いている。政府が4日に示した方針で再開は認められたが、終息が見通せず、二の足を踏む図書館が多い。そんな中、本の宅配サービスを始める図書館が出てきている。

「#図書館は動きつづける」。長野県立長野図書館（長野市）は4月22日、そう掲げて、宅配による本の貸し出しを始めた。全国に緊急事態宣言が広がり、18日から全ての来館サービスを休止。政府の再開容認後も「安全を守るため」と、今月15日まで延長する。

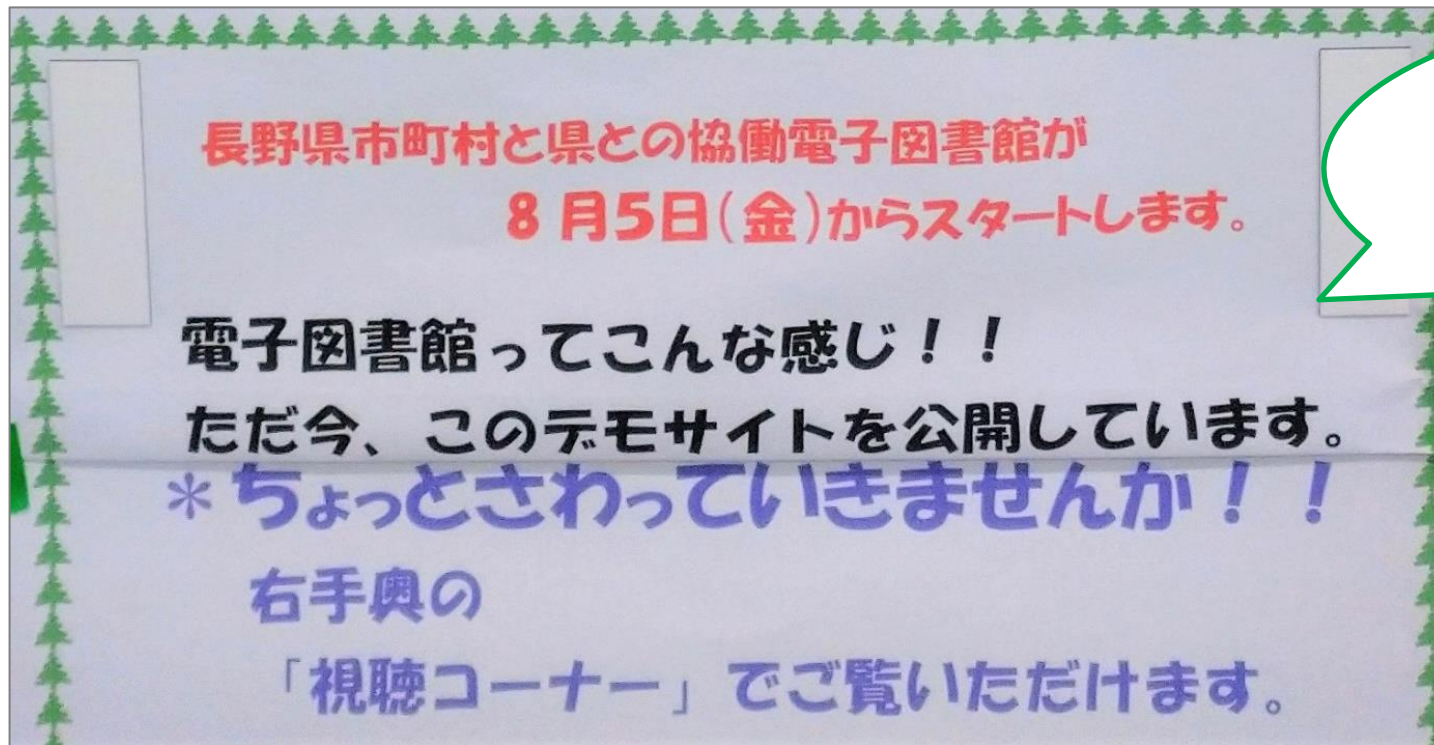
図書館は動きつづける
メッセージ

図書館のあり方を
根本的に考え直す
きっかけになりました

※森いづみ、中村竜生. ウイズコロナ時代の公共図書館を模索する：県立長野図書館の取り組み(特集 コロナ禍における図書館の現在)「図書館雑誌」114巻9号, 491-494. (2019.8) <http://hdl.handle.net/10091/00022332>

池田町図書館の好きなところ

- 池田町図書館に来たことがある住民の方なら、きっと見えるさまざまな変化
 - ✓ 変わらない安心感もありながら・・・いろいろな仕掛けがあちこちに！



デジとじょ信州

サービスが
始まる前から、体験できる
コーナーが設置！
フットワークが軽い♪

- ✓ 紙の本の質感を大切にしたい美しい印刷の絵本と、関連記事を展示していたことも

市町村と県による協働電子図書館（「デジとしよ信州」）

令和4年版 2022 **市町村と県による協働電子図書館**
 長野県民はだれでもいつでもどこからでも

パソコン・スマホ・タブレットで読む
電子書籍(コンテンツ)……77市町村で分担購入

電子図書館(プラットフォーム 本棚のような役目)……県立図書館で維持

県立図書館
 公民館図書室
 市町村立図書館

協働電子図書館運営委員会

電子図書館の窓口のない自治体の住民
 県立図書館を通じて申請

電子図書館の窓口のある自治体の住民
 住所のある自治体で申請

- 当初コンテンツ数：
 (青空文庫11,000点含む)
 18,000点以上→買い足していく
- 長野県内に在住・通勤・通学している人は、誰でも、いつでも、どこからでも利用可能
- 夏のDigi田甲子園：
 長野県代表の一つとして
 出場→ 第5位
[PR動画](#) (1分)
- デジタル庁
 「デジタルの日」
 広報ポスターに起用

徒歩0分。
図書館の近さが、
本を身近にする。

長野県立77市町村及び県民
 電子図書館

デジタル庁
 デジタルの日
 2022年
 10月2日(日) 11:00

県立長野図書館
 Nagano Prefectural Library

市町村と県による協働電子図書館（「デジとしよ信州」）

The screenshot shows the homepage of the 'Dejisho Shinshu' digital library. At the top, there is a navigation bar with the logo 'デジとしよ信州' and options for 'テーマ' (Theme), 'コレクション' (Collection), and 'キッズ&ティーンズ' (Kids & Teens). A search bar and a 'サインイン' (Sign In) button are also present. Below the navigation, there is a green banner for '「デジとしよ信州」使い方マニュアル・FAQ'. The main content area is titled '新着案内' (New Arrivals) and features a grid of six e-book covers, each with a '貸出可能' (Available for loan) label. The books shown are:

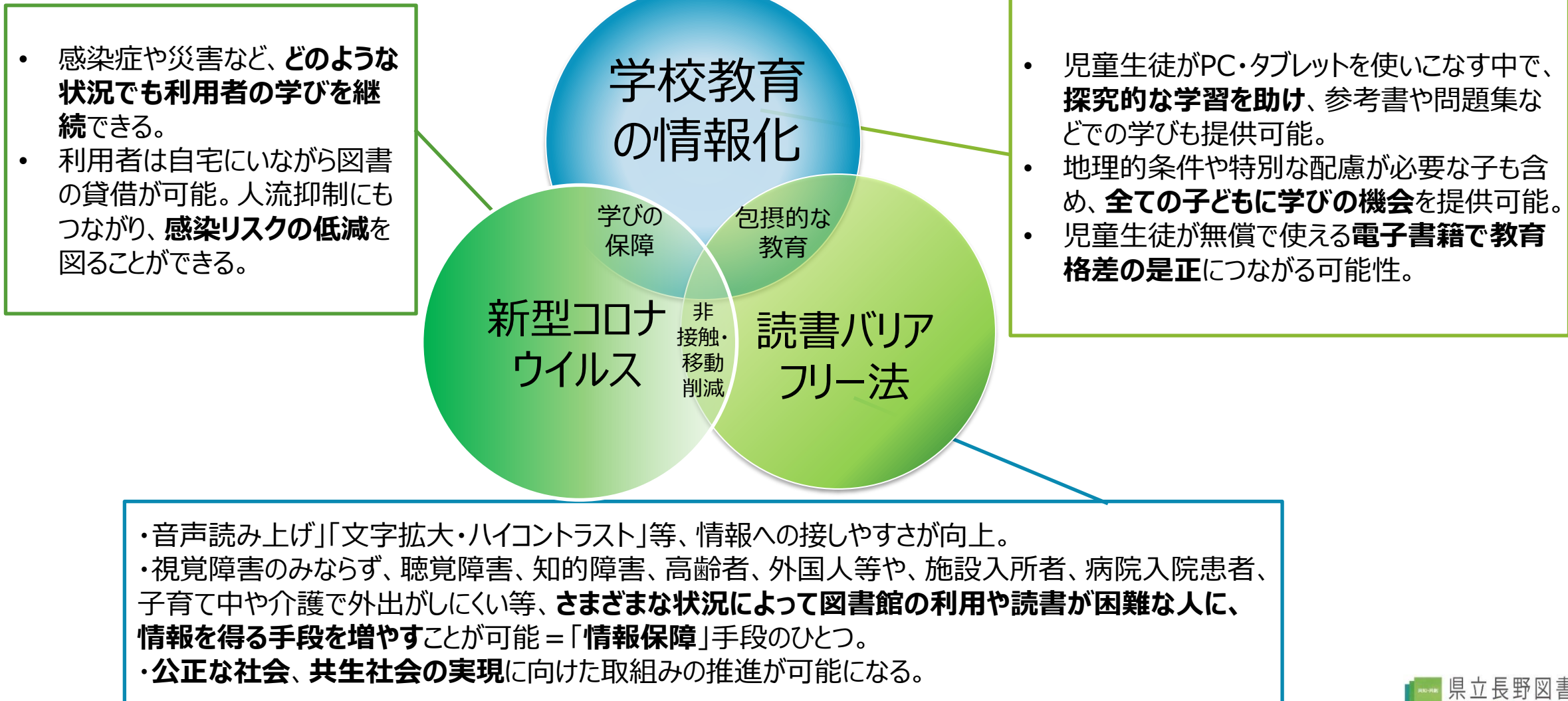
- 人生が変わる 移住のススメ (Magazine House)
- 実家の片づけ 親が元気なうちにしておくこと (Magazine House)
- むかしばなし 古里の伝説と民話 (Ryūbon Ryūsei)
- The Very Hungry Caterpillar (Eric Carle)
- 君たちはどう生きるか (Yoshino Kenji)
- 食材別Q&A 離乳食お悩み相談室 (Yamaguchi Makiko)

- 一人一度に2冊まで1週間借りられる
- 予約も可能
- スマホのアプリが使える
- 文字を拡大するなどの機能がある

<https://shinshu-kyodo-library.overdrive.com/>

「電子書籍」サービスの導入で期待していること

「電子書籍」サービスの導入→3つの社会課題の解決の糸口



協働電子図書館の主なターゲット（「コンテンツ選書の手順（コンテンツ内容）」より）

- 利用対象は全県民
- 事業目的にそって、特に以下の利用対象に資することに留意する
 - ✓ GIGA スクール構想等で、電子書籍を読むタブレット等を使いやすい環境にある児童および青少年
(IT リテラシーが高く、電子書籍を利用する障壁が低い傾向がある。
ただし、紙メディアや肉声の良さも考慮しながら、バランスよく活用していきたい)
 - ✓ リアルな図書館に足を運ぶことが困難な高齢者や、読書に関わる障害がある方
(文字の拡大機能などがある電子書籍を、自宅などから居ながらにして利用できることで、読書環境が改善されることが期待できる)
 - ✓ 開館時間に利用することが困難な子育て世代やビジネスパーソン
(24 時間 365 日、来館することなく使える電子書籍によって、図書館の利用が生活スタイルに馴染まなかった層の読書環境が改善されることが期待できる)

「デジとしよ信州」の特集棚（オープニング・セレモニーのデモシナリオより）

- 海こそなけれ、もの（山）さわに

信州は山岳県。山に親しみ、山の恩恵に感謝する山の日と共に、バラエティ豊かな山の本を紹介します。例えば・・・週末に向けて、「山ご飯」の本と「ルート案内」の本を借りる、なんてどうでしょうか。登山に何冊も本を持って行くのは大変ですが、電子書籍なら、いつでもスマホから呼び出せます。

- 「ビジネスに効くスキル特集」

仕事の手法も、効率も、働き方も、みんなが気になっている分野を選びました。

- 「子育て応援します！」

子どもが小さくて図書館へ行く余裕がなかったり、買い物中など外出先で調べられる便利な本をあつめました。

- 歴史や科学を学べる話題の「漫画」も、けっこう取り揃えています。

- 「いまこそ読みたい文芸書」

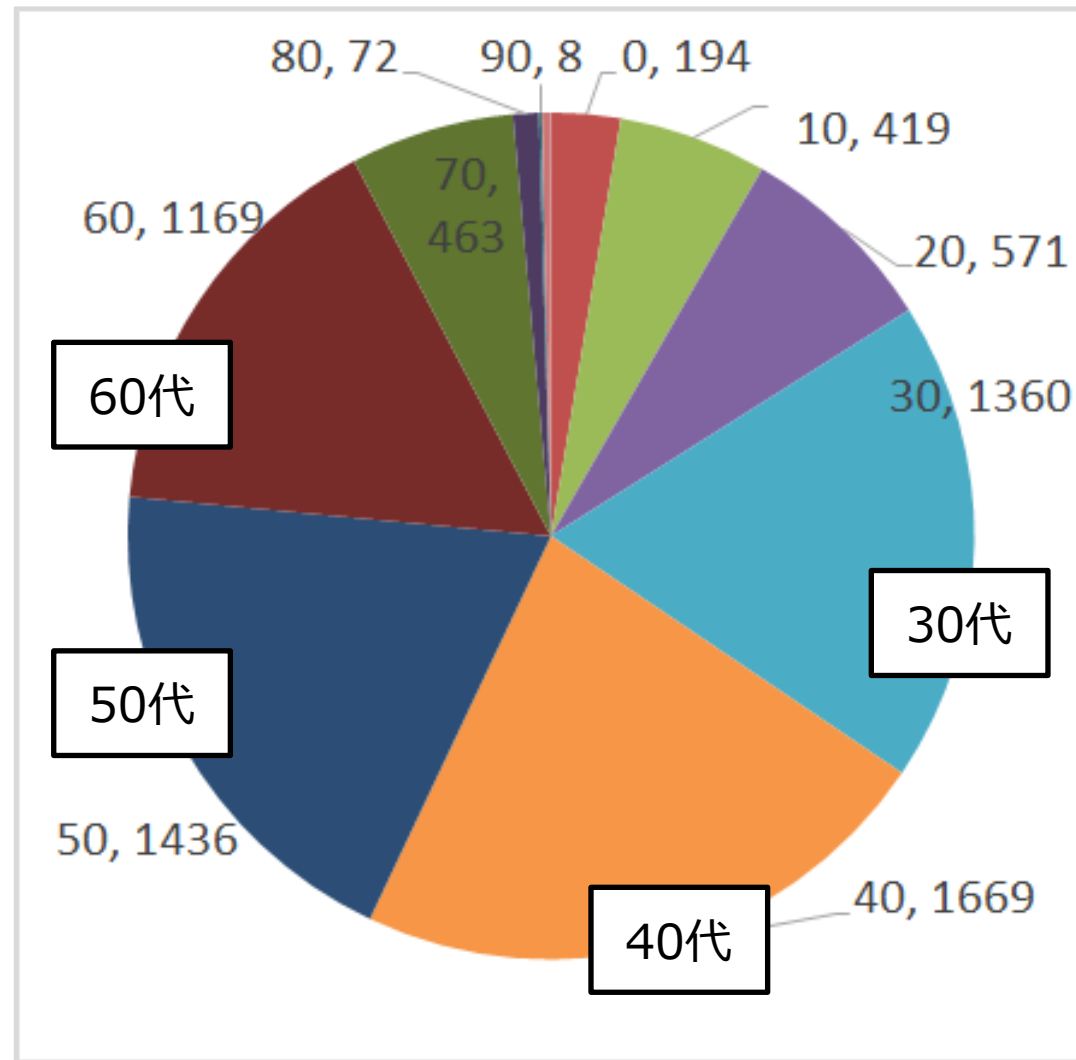
名作から、最近のものまでいろいろありますが、最近、小さい文字が読みづらいという方も、電子書籍のメリットを体感していただけたと思います。

お一人お一人の「知りたい」「読みたい」「学びたい」に寄り添い、これまで、図書館を使ったことがなかった人にも、興味を持ってもらえるような、「デジとしよ信州」。ぜひ、ご期待ください！

「デジとしよ信州」の利用実績

- **利用登録数**：8,234人（11月5日現在）
- **貸出数**：26,889冊（11月5日現在）
 - ✓ スタート当初と比べてやや落ち着くもののコンスタントに増加
- **貸出者年代**：（10月5日現在）
 - ✓ 貸出者の年代は全世代に及ぶが、40代が最も多く、全体の23%を占める。
 - ✓ 50代が18%、30代と60代が16%と続く。一般的に公共図書館の利用は、子どもとシニアによく利用されるM字カーブを描くため、従来は利用していなかった年代にリーチできていると見ることができる。
 - ✓ 10代が約10%、20代が約5%と少ないが、10代は学校との連携によって、20代は大学との連携によって、今後利用が伸びることが期待される。

- 無精者で図書館に行く習慣も本を持ち歩く習慣もなかったが、隙間時間が読書タイムとなり、読書量が一気に増加。
 - 普段読まないジャンルにも気軽に挑めている。
 - 身近なサポート役として、地域の図書館に期待。
- （「市民タイムズ」2022.10.2より）



貸出者の年代（開始後2か月）
→3か月後も傾向は同じ

一人一人にとっての、便利な使い方を発見してもらうために

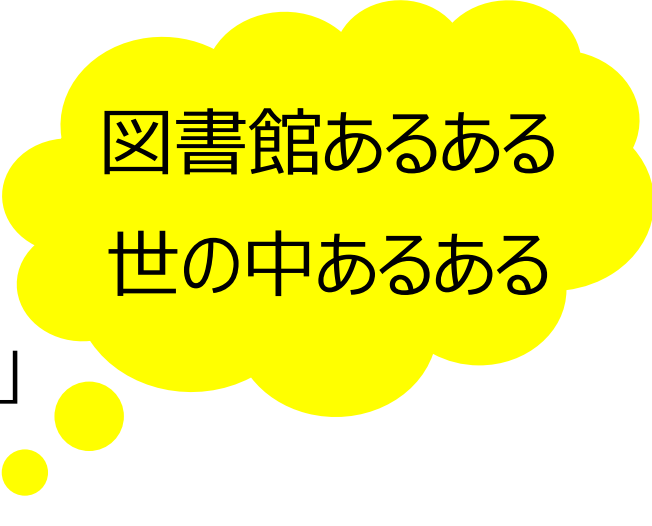
- 来たことがない住民の方は、知らないまま！？

- ✓ 「かえでには行くけど、図書館は入ったことないなあ」
- ✓ 「かえでにも、なかなか行かないなあ。用事ないし。忙しいし」

- でも、何かのきっかけで・・・

- ✓ 「え、図書館、今こんな感じなの？」 「もっと早く知りたかった！」
- ✓ 「いや、広報してるんですけど・・・」
- ✓ 一人一人にとって、気づきのタイミングや、ピン！とくるポイントはさまざまですよね

- ということで、図書館のあたらしい動向を、さらにご紹介します！



図書館あるある
世の中あるある

取組事例その①「どこコレ？」

●『まちの記憶を記録する ～「どこコレ？」のつくりかた～』

(2021年7月11日 信州発・これからの図書館フォーラム「共知・共創の広場へー もう一步踏み出す」シリーズ第1回)



- 「どこコレ？」とは、撮影された場所がわからない古い写真を集め、地域の方々の経験や知恵によって推理し、撮影場所を確定していく展示イベント。
- 場所の特定のみならず、一枚の写真をきっかけとして、さまざまな人々の記憶や思い出を引き出し、聞き手や参加者どうしの世代を超えた対話が生まれる仕組み。
- 個人の記録や記憶を持ち寄り、デジタルアーカイブのコンテンツとして、地域の記録や記憶を、市民と共に育てていける。

取組事例その①「どこコレ？」 信州・小諸篇 (2021年10月1日～31日)

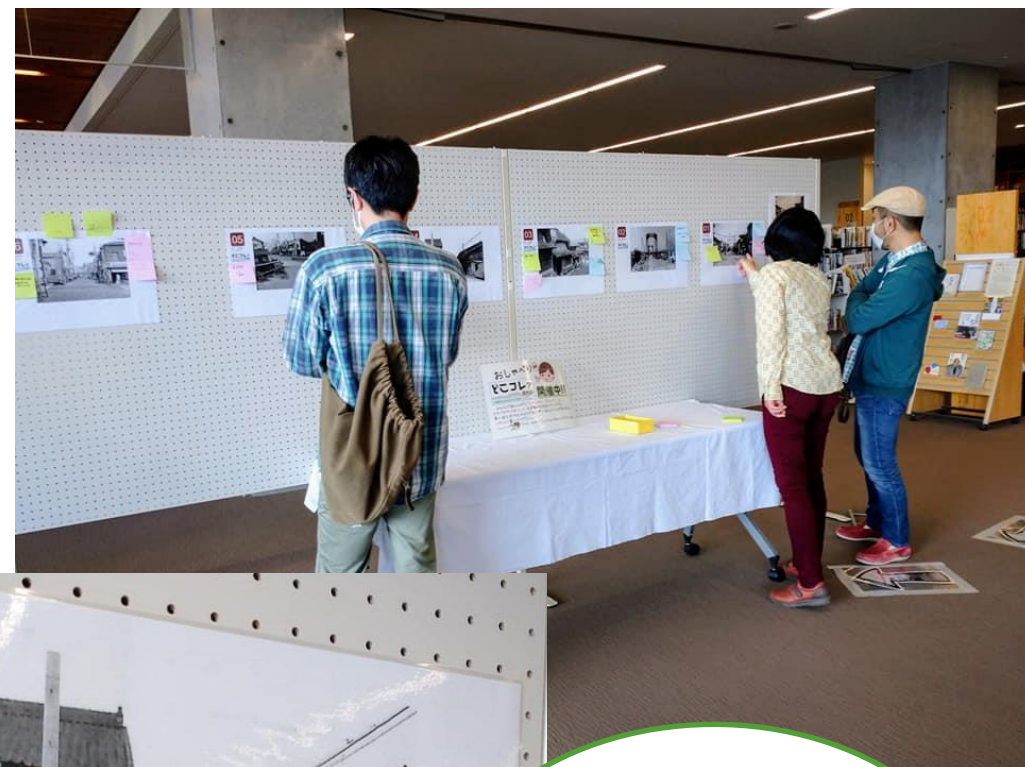


どこコレ? 信州篇

—信州のキオクをキロクする—

昔の貴重な写真も、撮影場所や年代がわからなければ資料として活かすことができません。これらの写真を展示公開して、市民のみなさんの情報により確定するイベント「どこコレ？」—信州・小諸篇—を開催します。

今回は、市立小諸図書館が所蔵している昔の小諸を記録した写真を展示します。この写真は、いつ、どこから、どの方角を撮ったものだろう？写っているのはなんだろう？など思い出される当時のキオクやオモイデなど、皆さんが知っている情報を自由にお寄せ下さい。



思い出も大切な
記録・・・
思い出したことを
ふせんに書いたり
語り合おう

- ウィキペディア（Wikipedia）ご存じですか？
 - ウィキペディアの目的は、信頼されるフリーな百科事典を——それも、質も量も史上最大の百科事典を創り上げることです。--ラリー・サンガー
- 使っていますか？
 - 何かを調べる時の「とっかかり」としてとても有効
 - 2021年11月、日本語版の記事数が130万項目を突破
- 編集したことありますか？
 - みんなで楽しく編集するイベント、ウィキペディアタウンの取組をご紹介します

2022年11月
135万！

- 地域にある文化財や観光名所などの情報を、インターネット上の百科事典「ウィキペディア」に掲載し、さらに記事にアクセスしやすくした街（町）のこと。
 - 例えば、地域の名所にQRコードを入れた看板を立てて、ウィキペディアの記事にリンクするなど。
- 日本では街（町）そのものより、ウィキペディアを編集するイベントの名称として使われることが定着

※参考：<https://ja.wikipedia.org/wiki/ウィキペディアタウン>

ウィキペディアタウン：信州の事例

Learn by Creation NAGANOの縁側ー
「つくるから学ぶ」の違いを味わう（2022/12/18）

- 日時：2021年11月28日（日）10:00～17:00
- 場所：池田町交流センターかえで 大ホール
- 主催・共催：北アルプス地域振興局／池田町・池田町教育委員会・県立長野図書館
企画運営：ヤングパワーバンク
- 編集した項目：
 - 池田学問所（新規）
 - 池田八幡神社（新規）
 - 浅原六郎（加筆・修正）

歴史を
知ると町に
興味が出
てくる

編集して反
映したら…
すげえ！
変わった！

様々な立場
の方々と
お話でき
楽しい時間

The image shows a promotional poster and a registration page for the event. The poster features the title 'Wikipedia Town in Ikeda' and the date '11/28(日)'. The registration page includes a QR code, a schedule, and a list of speakers. The speakers listed are syohei (Wikipedia Japanese language editor) and Kazuhiko (Ikeda City local cooperation force). The registration page also includes a section for '当日のスケジュール' (Daily Schedule) and '準備するもの' (What to prepare).

※長野県魅力発信ブログ：北アルプスCOOL便
「ウィキペディアタウンin池田町」を開催しました！
<https://blog.nagano-ken.jp/hokuan/events/15630.html>

- ウィキペディアタウンのねらい：
 - 地域情報が世界に公開され、地域の活性化につながる可能性
 - 観光や地域ガイドアプリへの情報提供という二次利用
 - 多くの人の情報の活用で、副産物が生まれ、新しい価値の創造が期待される
- 情報を「つくる」ためには
 - 知ること。対象に興味を持つこと。楽しむこと。
 - 編集ルール：典拠を示すこと（図書館の資料・情報が活躍）、著作権への配慮、オリジナルの記述。
 - チームで取り組む・多世代が交わる
 - 魅力発見→世界へ発信
 - 地域への貢献→町が好きになる、好循環!?

情報を
「**つかう**」
から

情報を
「**つくる**」
へ

「**つくる**」
は
「**学ぶ**」

ウィキペディアタウンin池田町の様子

北アルプス地域振興局の報告ブログから

10代から60代まで、
幅広い年齢層の方が参加
和気あいあいと
編集中



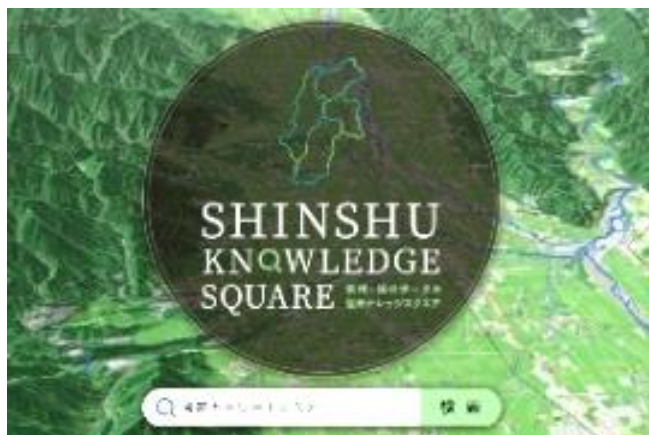
記事の作成に使う
文献・資料は
池田町図書館や
おとなりの松川村図書館、
県立長野図書館から
持ち込み

池田町ガイドマスターの方に
案内していただきながら
「まち歩き」

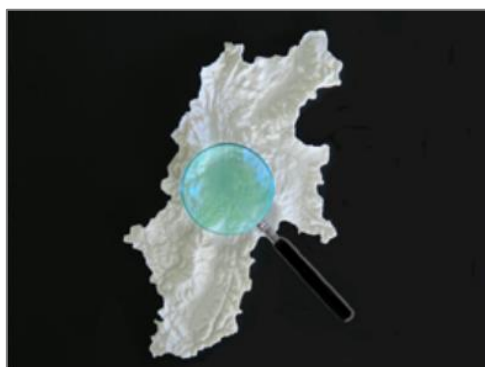


取組事例その③「信州ナレッジスクエア」

- 多様な文化を持つ信州各地に蓄積されてきた地域情報資源のポータル。「ナレッジスクエア」とは「知識の広場」



1. **信州サーチ**：信州に関わるデジタルアーカイブ、データベース、ウェブサイトの横断検索
2. **信州デジタルコモンズ**：信州の人々が営んできた身近な生活の記録を画像や映像で残し、「知の共有地」として活用するデジタルアーカイブ
3. **想・IMAZINE・信州**：言葉や文章から連想して、複数のデータベースを検索
4. **eReading Books**：高校の探究学習『わたしたちの信州学』や、小学校の副読本『わたしたちの松川村』のテキストから、新書マップやWikipediaの情報と繋がる。
5. **信州ブックサーチ**：長野県内図書館OPACの横断検索システム→電子書籍2種も対象に



信州サーチ

世界から信州を探そう
県内外のデータベースやアーカイブの中から「信州」に関することがらを探し出すことができます。上の検索窓から検索できます。



信州デジタルコモンズ

地域の記憶を記録する
信州の人々が営んできた身近な生活の記録を画像や映像で残し、「知の共有地」として活用するデジタルアーカイブです。



想・IMAZINE・信州

連想の広がりを体験しよう
入力した言葉や文章からキーワードから連想するようにして、思いもよらなかった文脈の新たな発見や発想が生まれます。



eReading Books

自分の根っこを確かめよう
本文中の単語やキーワードに関する情報を同時表示する「eReadingシステム」で、身近な地域を学ぶ資料を閲覧できます。



信州ブックサーチ

信州の図書館から本を探そう
長野県内にある図書館の蔵書データをつなぎ、探したい本がどこにあるかを素早く見つけられる検索サービスです。

「信州ナレッジスクエア」の「信州サーチ」→「信州デジタルcommons」を使ってみよう

<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

SHINSHU KNOWLEDGE SQUARE

池田町

- 信州サーチ -
信州の文化資源を
まとめてさがす

29件見つかりました。

絞り込み

- すべて
- アーカイブ
- 収蔵情報
- 図書・論文
- その他

POWERED BY

池田町村(図)

資料コード	03MP1001020060
タイトル	池田町村(図)
分野	<input checked="" type="button" value="歴史"/> <input type="button" value="建造物"/>
場所(市町村名)	<input checked="" type="button" value="池田町"/>
制作年(西暦)	1885
制作年(和暦)	明治18年
時代	<input checked="" type="button" value="明治"/>
制作者	長野県
制作者(ヨミ)	ナガノケン
大きさ	48x68
資料解説	

例：信州サーチで「池田町」を検索し、「アーカイブ」で絞り込み→信州デジタルcommons「池田町村(図)」明治18年

パブリックドメイン：
地域の歴史を学んだり、
二次利用して
新しいコンテンツを創る
材料として活用可能

「池田駅」？に
見えるのですが・・・謎！

「信州ナレッジスクエア」の「eReading」から広がる「知の循環」

- 『池田町ものがたり』：小学校の郷土学習の副読本。付加価値付きの電子書籍化

- キーワードから、ウィキペディアの該当項目や新書マップにリンク

物理学校：
科学生



農業で子ども



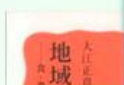
地域に希望
仕事を創る



「豊かな地
うのか：地



地域の力：
り



池田学問所



池田学問所
(いけだが
くもんじ

高瀬中学校

池田町立高瀬中学校(いけだち
ょうりつたかせちゅうがっこう)
は長野県北安曇郡池田町に

南安曇農業高校



長野県南安
曇農業高等
学校(なが

池田工業高等学校

長野県池田工業高等学校(なが
のけん いけだこうぎょうこう
とうがっこう)は、長野県北安

池田町, 安曇



池田町(い
けだまち)
は、長野県

池田の学校

池田地域には江戸時代の終わりころ、池田学問所をはじめ多くの私塾や寺子屋がありましたが、明治に入るとまもなく国の方針により、各村ごとに「堀ノ内学校」「池田学校」「滝澤学校」「修道(のちの浪田見)学校」「前社(のちの会楽)学校」「中鶴学校」「寺村学校」「善壽学校」「北山学校」などの公立小学校ができました。当時は今とちがひ、貧しかったり家の仕事が多かったりなどの理由で学校へ行けない子どもも多くいましたが、次第にその数は減っていきました。小学校の呼び名も、「尋常小学校」「高等小学校」と変わっていき、やがて義務教育の年数も4年から6年へと延びました。



また、この地域では、古くから「函谷雜誌」など数多くの書物が発行されていて、これらによっても新しい知識や技術が人々のあいだに広まっていきました。明治の終わりころには、青年たちの学習の場として「池田実業補習学校」(のちの北安曇農業高等学校、さらに池田工業高等学校と変わる)ができています。

池田学校園(明治初期)
林蔵舎の建物を使ったようです。[写真が語る池田町誌]

その後、太平洋戦争(アジアでの日本とアメリカ・イギリスなどの戦い)が始まった1941年(昭和16)には、「尋常高等小学校」は「国民学校」と呼び名が改められ、次第に戦時色が強められていきました。終戦直後は、それまで使っていた教科書のあちこちに墨が塗られるなどの混乱もありましたが、まもなく今のような「6・3・3・4制」という学校のしくみにかわり、各町村に新しい中学校が誕生しました。そして、その後の町村合併にともない、小・中学校の統合も進み、やがて今の二つの小学校と一つの中学校になりました。1988年(昭和63)には、北野郡によって「安曇養護学校」が会合地区内縁にできています。



改築前の高瀬中学校
昭和28年、「池田町他一ヶ村組合立高瀬中学校」として開校されました。[写真が語る池田町誌]



安曇養護学校
平成22年、高瀬部の分校室が南安曇農業高校内に開設されました。[池田町誌]

補習
しよ

んじ)と
都港区三田

白駒(はくく)は、将棋の駒の種類
の一つ。本将棋にはなく、中将
棋・大将棋・天竺

都道府県
の成り立ち

日本の農業に
学校 農業高等学校(のつさよ
うとうがっこう)とは、主に農業

ない)英語教育

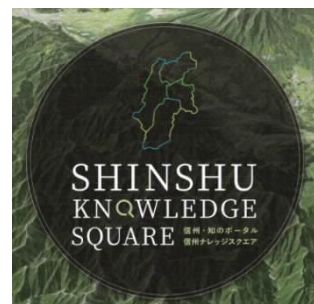
地域を学ぶテキストから、
まち歩きをして現地を訪れたり、
根拠となる文献を調べて
編集した内容にリンク
↓
知が循環する事例

ネットワーク上の信頼できる
情報にリンクしていれば、
より新しい情報にアクセス
することが可能！

知識循環・知的創造の基盤としての「信州ナレッジスクエア」

- 「信州デジタルコモンズ」 デジタルアーカイブジャパン・アワード 受賞 (2022年8月)

情報の蓄積



情報の活用

事例：

まつもとフィルムコモンズ
松本で撮影した8mmフィルムを
募集し、デジタル化して新しい
地域映画を作成
→信州デジタルコモンズで
二次利用可能な形で公開
できるよう、検討中

知の増殖型サイクル：
デジタルアーカイブの
知を利用し、
新しい知を創造する
→課題解決に生かす

活用した成果 = 新たな知が
生み出され、蓄積・循環



「つなぎ役」「二次利用しやすい形での情報公開」を評価していただきました

<https://blog.nagano-ken.jp/library/2022/08/26/>

なぜ、図書館が「知識循環・知的創造」の基盤を担うのか？

● 公立図書館の任務と目標

(日本図書館協会 1989年公表、2004年改訂)

- ✓ 公立図書館は、乳幼児から高齢者まで、住民すべての自己教育に資するとともに、住民が情報入手し、芸術や文学を鑑賞し、地域文化の創造にかかわる場である。

すべての年代の
人々の「知る・学ぶ・
創造する」場

インプットだけではなく
アウトプットまでが
守備範囲

賑わい創出、
地域の課題解決など、
図書館という公共施設の
機能拡張への期待へと
つながる

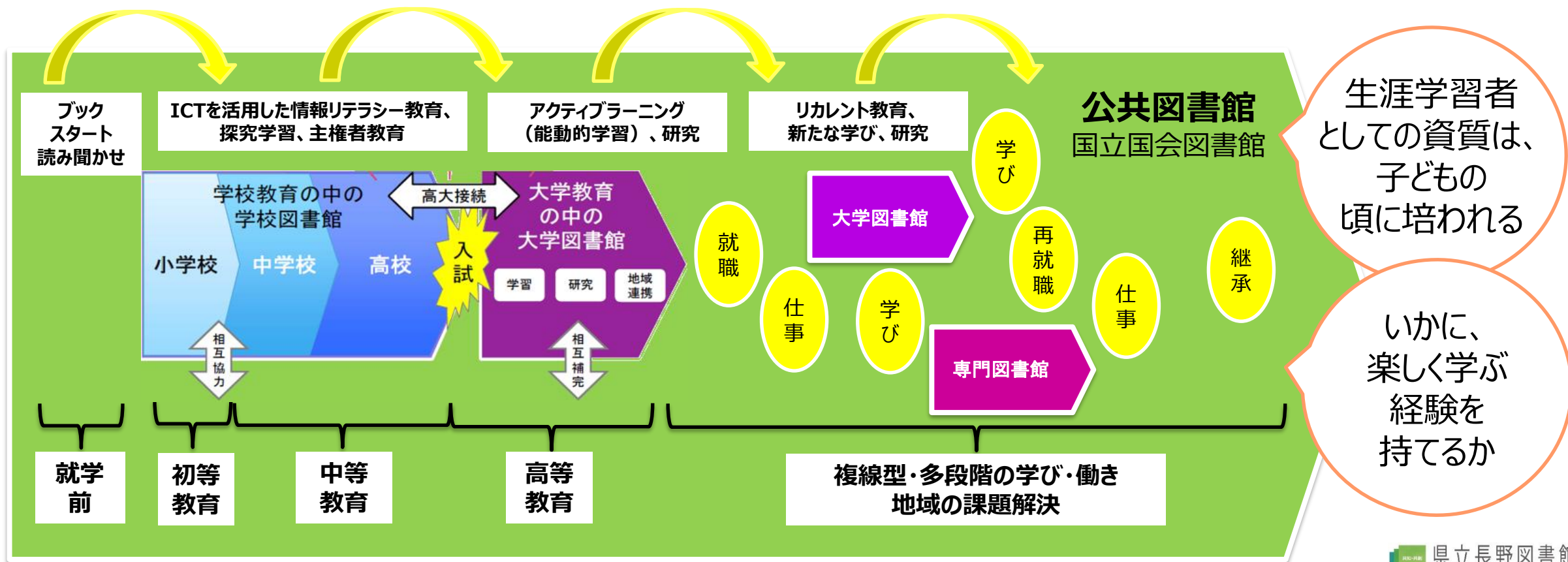
情報の蓄積
と活用の循環によって
「地域文化」そのものの
「創造」にかかわる

※ 自治体が設置する「公立図書館」と、法人等が設置する「私立図書館」を総称して「公共図書館」と呼ぶ。

生涯学習の場としての公共図書館の役割

人生100年時代の図書館とは・・・？ ラーナーセントリック：学ぶ人が中心

- 公共図書館は、「乳幼児から高齢者まで」学習者一人一人の生涯にわたって、学びの機会を架橋し、「自己教育」を支え続けるという役割を持つ
- 一人一人を中心に考えた、館種を越えた連携プレイが必要！ HUB（つなぎ役）としての役割



さくまゆみこさんのお話から（翻訳家・日本国際児童図書評議会会長）

● 「こどもの本から世界を見れば・・・」松川村図書館読書月間特別イベント（2022年11月12日）

- ✓ 子どもにとって本は世界への窓。今、見える風景とは違う景色が見えることは、大切なこと。
- ✓ 国際児童図書評議会の創設者、イエラ・レップマンは、第2次世界大戦後、ナチスドイツの敵国だった国々に子どもの本の寄贈を依頼。「次の戦争が始まらないために」私たちができること

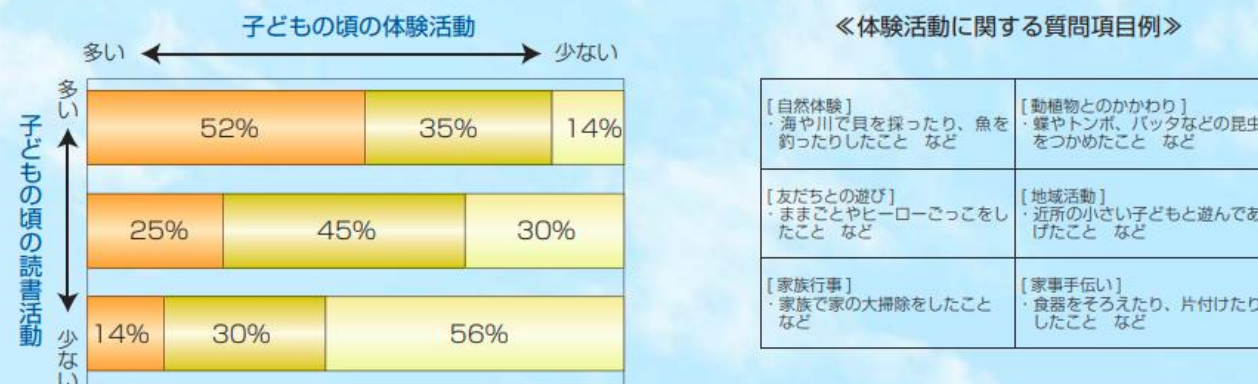
子どもの頃の読書は、人生を豊かにします

子どもの頃の読書活動が多い大人ほど、未来志向や社会性などの「意識・能力」が高いことがわかりました。また、子どもの頃に読書活動が多い大人ほど、ボランティア活動に参加している人が多い傾向にあります。



読書と一緒に体験も大切です

子どもの頃に読書活動を多く経験した大人は、同時に子どもの頃の体験活動も多く経験している傾向があります。



※ 『子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究 報告書』 国立青少年振興機構（2013年2月）

https://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/72/

後半のトークに向けて・・・池田町での出逢いと発見①

●実は・・・

- ✓ ウィキペディアタウンの「まち歩き」で、まちのあちこちにQRコードが貼ってあることを発見！
- ✓ ウェブサイトを見て「まちなか あの頃」を知り、先進的な取組に驚く
- ✓ **横川さん**から、目的や課題、今後の課題について、語っていただきました

ココが聴きたい！

図書館とコラボレーションした取組の可能性、いろいろありそう!?

まちの暮らしの記憶を記録し、次世代に継承していくこと

記録を活用して、まちの魅力を知ったり、発信したりすること

後半のトークに向けて・・・池田町での出逢いと発見②

●実は・・・

- ✓ **矢口さん**とは、ウィキペディアタウンin池田町の編集グループで、ご一緒したことがきっかけ！
- ✓ Facebookで繋がって、「高瀬川を愛する会」の活動を知りました
- ✓ 本日の発表でも、高瀬川の生き物について、語っていただきました

ココが聴きたい！

専門的な知識は、どこから？「先生」「図鑑」「論文」「経験」？

体験と知識って、循環するのかな？

大人も子どもも、多世代の人たちが一緒に体験する意味は？

後半のトークに向けて・・・池田町での出逢いと発見③

●実は・・・

- ✓ **皆川さん**とは、「こどもがまんなか」のリーフレットを県立長野図書館に寄贈していただいたことがきっかけ！
- ✓ 「池田町第2次教育大綱（こどもがまんなか 未来を拓くひとづくり）」当事者である「こども目線」の、とても素敵でリーフレットに感動

ココが聴きたい！

図書館はどんな「場」であってほしい？ 子どもにとって・大人にとってやりたいことがある人たちを、「資料・情報」「空間・場」「人」という図書館の3つの要素で全力で応援したい。

と同時に、誰も疎外されない、安心して居られる場所でありたい・・・

ここはみんなの“考・楽・知” ～ 池田町図書館への期待 ～

- みんなが豊かな情報基盤を活用して、主体的に学び合い、「知の循環」を創り出す
→ **共に学び合い、共に価値を創る**
- 地域・身体・世代・経済など、あらゆる情報格差のない生涯学習の環境となる
→ **だれ一人取り残さない公正な社会の一画を担う**
- 一人一人のライフスタイルに寄り添うハイブリッド図書館として、それぞれのリアルとバーチャルのベストミックスを実現する
→ **不易流行の精神で時代の要請に応え、新たな社会的価値の創造を後押しする**

地域の情報拠点として
すべての取組に共通すること
「使ってもらおう」だけでなく
「共に創る」観点を持つ
+ **対話とプロセスを重視**する

県立図書館の役割：
池田町図書館
をはじめとする、地域の
図書館を支え、共に成長する

いついかなる時も、みんなの
「知る」「学ぶ」を支える図書館
まちの皆さんと
「まちの未来」を考え、
共に創っていきましょう！